

11月16日(金)

4年生音楽の授業で「おはやしや民ようを楽しもう」という単元を学習しています。

伝統芸能を保存継承している地元の方の協力を得ながら学習が進んでいます。

この日は佐伯市内の「天穹」(てんきゅう)という和太鼓サークルのメンバーが指導してくださいました。



バチと太鼓は中学校からお借りして中学校体育館で練習をしました。

バチの持ち方がとてもむずかしく、教員も子どもたちも悪戦苦闘しました。

早いリズムで打ち、なおかつ、響きのある音を出すためにはバチの持ち方が重要なようです。



今回の学習は本匠中学校で取り組んでいる和太鼓を使った創作音楽の学習にもつながることでしょう。

次回の指導は12月を予定しています。

それまでに、バチの持ち方をしっかりと復習しておきたいと思います。

なお、「天穹」(てんきゅう)のメンバーは、毎週木曜日の夜、本匠中学校体育館で練習をしています。

メンバーを随時募集しているそうです。

興味のある方は小学校までご一報ください。